

小林会員 瀬戸山賞受賞を祝う会 令和7年3月13日(木)

◇会長挨拶◇ 会長 太田 淳也

皆さん、こんばんは。

本日は、小林聖仁会員の「瀬戸山賞」受賞のお祝いに会員一同でお祝いするために多くの皆さんにお集まりを頂き、誠にありがとうございます。

小林聖仁会員は、36歳の時から、更生保護の活動を保護司として45年もの長きにわたりご活躍をされて来られました。

2002年には、小林聖仁さんが会長を務めていた「岡谷地区保護司会」が瀬戸山賞を受賞され、今回、個人としての受賞は、県内では初の受賞、また全国に於いても小林聖仁さんが2人目の受賞という素晴らしい快挙を達成されました。

このようなたいへん名誉ある「瀬戸山賞」を当クラブの会員である小林聖仁さんが受賞された事に、会員一同、心からお祝いを申し上げさせていただきます。

お話しをお聴きしますと、自らの足で何度も何度も法務省や財務省に足を運ばれて、全国の更生保護活動がより良くなるため、ご尽力されたそうです。

そうした労力は一言では言い表せないくらい、たいへんな事であったとお察しを致します。本当にお疲れ様でございました。

正に、ロータリークラブの奉仕の誠を実践されている方であります。

私達も、このような素晴らしい先輩方が当クラブに在籍して頂いている事を誇りに思い、これから先、少しでもその背中に近づけるように日々努力していきたいと強く思っております。これからも私達に、変わらぬご指導の程、どうぞ宜しく願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございます。

